

第13回 Thiel法固定遺体による麻酔ワークショップ 開催報告

主催：札幌医科大学医学部麻酔科学講座
共催：富士フイルムメディカル株式会社



受講者から

末梢神経ブロックに触れる機会がこれまで多くはなく、このような勉強会を設けていただき大変感謝しております。

滅多にない機会のため様々なブロック手技を勉強したかったのですが、時間も限られるなか、まずは来年以降に頻度が増すと思われる上下肢のブロックを中心にトレーニングさせていただきました。実際にエコーをあてて穿刺をしながら、先生方からコツや注意点を教えていただくことができ、大変勉強になりました。また、染色液を注入して薬液がどの層にどのように広がるのかを目で確認することもできてとても面白かったです。

今回学んだことを実臨床で実践し、さらに手技を上達させて麻酔管理の引き出しを増やしていきたいと思います。

札幌医科大学 麻酔科学講座 根岸 航大

指導者から

1/29, 30にThiel法固定遺体を用いた神経ブロックトレーニングを行いました。「感染対策に十分留意しつつ、実のあるトレーニング」が目標でした。

主に大学の後期研修医を対象に、各々希望する神経ブロックについて1時間程かけて超音波描出・針穿刺技術の指導を行いました。集中して取り組む姿や、ブロック後の献体解剖によって三次元的に理解していた姿が印象的でした。

Thiel法固定遺体は穿刺の感触が生体に近く、受講者にとっても指導者にとっても大変貴重な勉強の機会となりました。併せて臨床研究にも取り組んだので学術発表を目指します。不安定な感染状況ながら今回開催させていただいたことに感謝し、今後も前向きに取り組んでいきたいと思います。

札幌医科大学 麻酔科学講座 汲田 翔